

Journal

ジャーナル

vol.23

2018 February ▶ April

23

特集

文武両道 — 法学部のアスリートたち —

2018 February ▶ April



特集

文武両道

— 法学部のアスリートたち —

日本大学法学部 Event Schedule

2月~4月

就職指導課	エクステンションセンター	教務課	学生課	研究事務課		
		図書館事務課	入学センター			
2 February	2月 5日(月)	第3回総合就職ガイダンス			2月 8日(木)	4年次生成績発表 ※10:00からWEBにて発表。
	2月10日(土)	法学部就活セミナー(法学部校友会共催)			2月 8日(木)・9日(金)	4年次生再試験手続き ※教務課窓口にて受付。
	2月13日(火)・14日(水)	グループディスカッション講座			2月10日(土)	定期無料法律相談会
	2月13日(火)~16日(金)	就職用証明写真撮影会 SPI受検・テストセンター体験会 業界別個人模擬面接			2月21日(水)~23日(金)	追試験(1~4年次生)・再試験(4年次生)
	2月15日(木)・16日(金)	筆記試験直前対策講座			2月27日(火)~3月13日(火)	法学部ヨーロッパ研修旅行
3 March	3月 1日(木)~16日(金)	法学部企業研究セミナー			3月10日(土)	付属高等学校等1・2年生対象オープンキャンパス
	3月10日(土)・17日(土)	法学部合同企業研究セミナー			3月12日(月)	平成30年度転部(第一部・第二部間)・転科選考合格発表
					3月14日(水)	学内学会・研究所合同研究会
					3月25日(日)	日本大学卒業式・学位記伝達 卒業記念祝賀会
4 April	4月上旬	キャリアプランガイダンス			4月 2日(月)~7日(土)	開講式・新入生ガイダンス
	4月中旬	インターンシップガイダンス 就職マナーガイダンス 課外講座説明会(公務員講座、教員講座、法律分野講座、会計分野講座、就職対策講座) 学生研究室説明会(司法科研究室、司法書士科研究室、弁理士科研究室、税理士科研究室、行政科研究室、公認会計士科研究室)			4月 4日(水)	新入生歓迎会 サークル新入部員募集
					4月 4日(水)~7日(土)	学生定期健康診断 ※全学生が必ず受診すること。
	4月下旬	公務員業務説明会			4月 8日(日)	入学式(日本武道館)
					4月 9日(月)	平成30年度前学期授業開始
					4月上旬	日本学生支援機構奨学金予約採用者説明会 ※高校で手続きをしておき、決定通知を発行されている者。 日本学生支援機構奨学金在学採用者説明会 ※大学入学後に初めて手続きをする者。
					4月16日(月)~21日(土)	履修登録期間(前学期開講科目及び通年開講科目)
					4月中旬	図書館オリエンテーション

各行事についての詳細は、各担当課にお問い合わせください。 就職指導課 エクステンションセンター 教務課 学生課 研究事務課 図書館事務課 入学センター

Information

3月25日(日) 日本大学卒業式・学位記伝達、卒業記念祝賀会

卒業式(日本武道館)、学位記伝達(神田三崎町キャンパス)の終了後、法学部の卒業記念祝賀会(法学部校友会共催)をホテルグランドパレスにて盛大に行います。学生生活の締めくくりにぜひ御参加ください。

■卒業記念祝賀会は事前申込制。本館事務局内証明書自動発行機にて申込み。会費2千円。問い合わせ: 法学部庶務課03-5275-8501



日本大学法学部がわかるマガジン
Journal
vol.23 2018 February ▶ April

<http://www.law.nihon-u.ac.jp/>

本誌「日本大学法学部ジャーナル」のバックナンバーは、法学部ホームページにてご覧いただけます。
<http://www.law.nihon-u.ac.jp/publication/pr.html>

2018年1月20日発行 日本大学法学部広報 通巻131号 発行: 日本大学法学部企画・広報委員会

詳細情報は、随時掲示板およびホームページで確認してください。

Contents

02【特集】
文武両道
—法学部のアスリートたち—

【スペシャル対談】
田邊陽子准教授
佐藤秀明専任講師

04 競技に勉学に日々努力を重ねる
法学部アスリート
をズームアップ

ボート部 中原友朗さん
柔道部 滝川真央さん
柔道部 佐藤和哉さん

相撲部 加藤翔太さん
サッカー部 金子拓郎さん
野球部 八田 夏さん

08 法学部
OBインタビュー

水泳部OB 押切雄大さん

日本大学保健体育審議会

競技部一覧

column
第4回ホームカミングデー

10【連載】
法学部授業Close-up

新聞学科
石川徳幸准教授
『メディア・テキストの基礎Ⅰ・Ⅱ』

ゼミナール突撃訪問

経営法学科
臼井哲也ゼミナール

法学部の就職力
vol.2 公務員編

学生研究室
第2回 司法書士科研究室

12 日本大学法学部
Event Schedule(2月~4月)

【スペシャル対談】
競技と勉学の両立の意義

法学部の体育実技を担当され、ご自身もアスリート出身である田邊先生と佐藤先生に、競技と勉学の両立について伺いました。

— 田邊先生は柔道の五輪メダリスト。学生時代はどのように過ごされましたか。



田邊陽子 准教授

田邊 当時、女子柔道はまだ創成期で、大学の女子柔道部は少なく、私も文理法学部の

サークルに所属していました。練習場を探すのたいへんで、練習スケジュールも自分で立てて。その中で勉強もしっかりできたことが、その後の人生ですごく役に立ちました。
— 佐藤先生は保健体育審議会(以下保体審)のフェンシング部で活躍されました。
佐藤 選手として学生選手権などに出場して、部の責任者としてチームをまとめていました。現在は保体審のフェンシング部コーチをしています。
— さて、今回の特集のテーマであるアスリートの競技と勉学の両立、また法学部で学ぶことの意義はどのようにお考えでしょうか。
田邊 15年にスポーツ庁が創設され、17年春にはスポーツ基本法に基づく「第2期スポーツ基本計画」が策定されてスポーツ参画人口の拡大が図られるなど、東京オリンピック・パラリンピックを控えて、日本のスポーツを取り巻く環境は大きく変わってきているんですね。

文武両道

— 法学部のアスリートたち —

法学部には日本大学保健体育審議会の競技部に所属し、スポーツに情熱を燃やししながら、学業にも真摯に取り組む学生が数多く在籍しています。今号ではそんな法学部アスリートにスポットを当て、学生時代における競技と勉学の両立の意義を、法学部ならではの視点から探っていきます。



佐藤 今のスポーツ界は、スポーツだけでなく法律や政治、経済の知識を持っている人たちが動かしているところも大きいですね。
田邊 選手をサポートするスタッフも幅広くなってきた、医学出身のコーチ、マーケティング、選手のプロ化に伴う代理人、さらに選手選考やドーピング問題の仲裁と、スポーツと法というのはますます重要になってくる。
佐藤 指導者も、学校の先生なら指導がで

卒業後の進路の選択肢も広がりますし。
田邊 そうですね。自分が一生懸命に取り組んだスポーツを、どうやって自分の人生の中で生かしていくかということ、法学部はしっかり教えて社会に送り出す学部であるということですね。それは自信をもって言えます。
佐藤 競技と勉学を両立させることは簡単なことではないです。競技だけやるなら大学に来なくていい。それでも大学進学を選んだのだから、何かを学びなさい、やりとげた後に



佐藤秀明 専任講師

必ずいいことが待っている、ということに常に学生には伝えています。限られた時間の中で、勉強もスポーツもしっかりやってほしい。
— 最後に学生や保護者の方にメッセージを。
田邊 保体審の学生がたいへんなのはわかっています。早朝にトレーニングをして、大学で授業を受けて、合宿所に戻って練習し

日本大学保健体育審議会とは

日本大学の教育方針に基づき、保健体育を通じ、心身ともに健全な学生を育成することを目的とする組織。保健体育審議会推薦入学試験により特定のスポーツ種目に優秀な競技記録を有する選手の中から選抜され、入学後は保健体育審議会各部に所属。現在34競技部、約2300名の学生が、トップアスリートへの育成システムを利用して日々努力を続けています。

て、休みになれば遠征や試合がある。だけどこの4年間は人生の土台作りの4年間です。厳しいトレーニングとともに、自分でしっかり考えて行動できる力を身につけてほしいですね。
佐藤 法学部ではスポーツ活動に理解のある先生方がとても多く、教職員が一丸となって保体審の学生をサポートしています。学生には積極的に先生方と関わりを持ってもらいたいですね。保護者の皆さんは、法学部の教職員を信頼していただければと思います。

佐藤秀明専任講師プロフィール

担当科目は体育実技ⅠA・ⅠB、体育実技ⅠC、体育スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ。
修士(教育学)、法学部政治経済学科卒。日本オリンピック委員会強化スタッフ、日本フェンシング協会委員、東京都フェンシング協会理事。
学生時代は保健体育審議会フェンシング部に所属、全日本学生選手権などで活躍。現在はフェンシング部のコーチを務め、多くの日本代表クラスの選手を輩出。



現役時代(下)とフェンシング部コーチの現在(上)

田邊陽子准教授プロフィール

担当科目は体育実技ⅠA・ⅠB・Ⅱ・Ⅲ、体育実技ⅠC。
博士(スポーツ科学)、本学文学部体育学科卒。日本オリンピック委員会委員、全日本柔道連盟理事・アスリート委員会委員長。女子柔道界のバイオニアとして数々の国際大会で活躍。1988年ソウルオリンピック銅メダル(公開競技)、1992年バルセロナオリンピック銀メダル、1996年アトランタオリンピック銀メダル。



アトランタオリンピックより決勝、表彰式

競技に勉学に日々努力を重ねる

法学部アスリートをズームアップ

各競技部で厳しい練習に立ち向かいながら、大学に入ったからには学業もおろそかにしない。6人のアスリートたちに、競技と勉学を両立することの大切さ、今後の目標などを聞きました。



Kazuya Sato



Mao Takigawa



Tomoro Nakahara



柔道の強豪実業団へ 東京五輪に向けて 世界で戦うための さらなる高みを目指す

政治経済学科4年
佐藤和哉さん
柔道部

日本大学を選んだ理由は？

高校の監督が日本大学の故高木長之助先生と仲が良く、高校の合宿にも来てくださっていて。高木先生のもとでやりたいと思いました。

競技と勉学の両立について

金野監督が「授業の単位をしっかりと取らなければ競技の成績はついてこない」という方針で。練習が朝6時から夕方5時半からあるので、その間は授業を受けて、単位もすべて取りました。練習ばかりではなく、柔道以外

の時間もとったほうが良いと実感しました。

今後の目標を聞かせてください

4月からは新日鉄住金に入って東京オリンピックを目指して柔道を続けます。リオ五輪では銀メダルの原沢先輩の練習パートナーとして帯同したのですが、オリンピックの雰囲気を肌で感じて、今度は選手として戦いたいという気持ちが高まりました。100キロ超級は強い選手が多いので、社会人としてさらに進化してアピールしていきたいと思っています。

◎これまでの競技成績

- 高校
 - 2013年 全国高校選手権 無差別級 優勝
 - 全日本柔道選手権 出場
 - 全日本ジュニア柔道体重別選手権 3位
- 大学
 - 2014年 東京学生柔道体重別選手権 優勝
 - 全日本学生柔道体重別選手権 2位
 - 講道館杯全日本柔道体重別選手権 3位
 - 全日本ジュニア柔道体重別選手権 3位
 - アジアジュニア選手権 優勝
 - 2015年 東京学生柔道体重別選手権 2位
 - 全日本学生柔道体重別選手権 3位
 - 2016年 東京学生柔道体重別選手権 優勝
 - 講道館杯全日本柔道体重別選手権 3位
 - 2017年 東京学生柔道体重別選手権 優勝
 - 全日本学生柔道体重別選手権 優勝
 - 講道館杯全日本柔道体重別選手権 3位

応援に行こう！

- ◎今後のお主な試合予定
- 3月11日／東京都柔道選手権(東京武道館)
- 4月／全日本選抜柔道体重別選手権(福岡)
- 全日本柔道選手権(日本武道館)



公務員を志望して 警視庁で柔道を続行 気持ちも新たに 挑戦を続けていきたい

政治経済学科4年
滝川真央さん
柔道部
(女子部門)

日本大学を選んだ理由は？

将来を考えて大学には進学しようと思っていました。もともと公務員志望で警察官になりたかったのですが、日本大学法学部は公務員に強いと聞いて選びました。春から警視庁に就職が決まり、警視庁で柔道を続けていきます。

競技と勉学の両立について

スポーツ科学部に女子専用の道場ができて、合宿所が稲城に引っ越して、稲城と三軒茶屋と水道橋を往復する毎日でした。たいへん

◎これまでの競技成績

- 高校
 - 2012年 インターハイ 2位、全国高校選手権 3位
 - 2013年 インターハイ 2位、全国高校選手権 3位
- 大学
 - 2014年 全日本ジュニア柔道体重別選手権 3位
 - 全日本学生柔道優勝大会 団体 3位
 - 2015年 全日本ジュニア柔道体重別選手権 3位
 - 東京学生柔道体重別選手権 優勝
 - アジアジュニア選手権 優勝
 - 2016年 全日本学生柔道体重別選手権 3位
 - 東京学生柔道体重別選手権 優勝
 - ポーランドジュニア国際柔道 優勝

応援に行こう！

- ◎今後のお主な試合予定
- 3月11日／東京都柔道選手権(東京武道館)
- 4月／全日本女子柔道選手権



女子柔道の主将。国際大会で優勝した実力の持ち主。新たな階級での復活に期待。



全日本大学選手権 総合12連覇を達成！ 将来は地元で ボート競技を広めたい

経営法学科3年
中原友朗さん
ボート部

日本大学を選んだ理由は？

高校3年生の大会で日本大学のコーチをしていた方に「ボートを続けたほうが良い」と言ってもらって、大学でも続けることを決めました。全日本大学選手権(インカレ)の男子総合12連覇に関わってほんとうによかったです。

競技と勉学の両立について

戸田漕艇場で朝6時から練習し、大学で授業を受けて、戸田に戻って練習の毎日です。きついですが、僕は学業もしっかりやろうと

思っていて、教職課程もとっています。将来は地元の大学で教員になって、後輩の育成やボート競技の普及に携わってみたいです。

今後の目標を聞かせてください

プレッシャーはありますが目標はもちろんインカレ13連覇です。男子は8種目あるので、今年は全種目制覇に近づけたらいいと思います。3月の「お花見レガッタ」はコース沿いの桜が満開の時期なので、ボート競技を初めて見る人もぜひ応援に来てください。

◎これまでの競技成績

- 高校
 - 2014年 U19日本代表入り(JOC 3位)
 - 世界ジュニアボート選手権大会出場(ドイツ・ハンブルク)
 - 国民体育大会 準優勝(M2×)
- 大学
 - 2015年 全日本大学選手権 2位(M4×)、男子総合優勝
 - 2016年 全日本大学選手権 3位(M4×)、男子総合優勝
 - 8月末～9月／全日本大学選手権(戸田ボートコース)
 - 2017年 全日本大学選手権 優勝(M8+)、男子総合優勝

応援に行こう！

- ◎今後のお主な試合予定
- 3月24日・25日／お花見レガッタ(戸田ボートコース)
- 4月／日・立・明三大学レガッタ(戸田ボートコース)
- 8月末～9月／全日本大学選手権(戸田ボートコース)
- 10月／国民体育大会(福井)
- 全日本選手権(戸田ボートコース)



インカレではボートの花形種目、8人乗りの「エイト」のクルーとして活躍。





Natsu Hatta



Takuro Kaneko



Shota Kato



グラウンドとの往復で
忍耐力を鍛える日々
春季リーグで昇格し
再び神宮に立つ!



政治経済学科3年
八田 夏さん

野球部

日本大学を選んだ理由は?

ポジションは子供の頃からキャッチャーで、4番か5番を打ってました。日本大学に入ったのは、野球部の先輩の東さんというピッチャーと実は小学校からずっとバッテリーを組んでいまして。東さんから話を聞いて決めました。

競技と勉学の両立について

グラウンドと合宿所は習志野にあって、朝6時から練習して、学校に来て、夕方からまた練習です。しんどいことも多いですが、監督さん

が「そういうこともできない人間は、ここ一番で絶対に打てない」と。その言葉を胸に勉強との両立をがんばっています。

今後の目標を聞かせてください

春から野球部のキャプテンに就任します。中日ドラゴンズの京田さんは自分が2年の時のキャプテンだったのですが、自分ももっともっと練習して、キャプテンとして、「打てるキャッチャー」としてチームをリードしていきたい。まずは春季リーグで1部リーグに昇格します!



◎これまでの競技成績

- 高校
2014年 選抜高等学校野球大会 準優勝(履正社)
- 大学
2016年 東都大学野球 秋季リーグ戦 優勝
ベストナイン
- 2017年 明治神宮野球大会 ベスト4

応援に行こう!

◎今後のおもな試合予定

- 4月開幕/東都大学野球 春季2部リーグ戦
- 9月開幕/東都大学野球 秋季リーグ戦



東都大学リーグ優勝時にも活躍。好リードと長打力でチームを牽引する。



関東リーグ復帰に向け
チームとしても
プレーヤーとしても
結果を出したい1年



政治経済学科2年
金子拓郎さん

サッカー部

日本大学を選んだ理由は?

高校が前橋育英で、日本大学出身のコーチの方がいてセレクションを受けさせてもらいました。ポジションはサイドハーフです。攻撃的ミッドフィルダーとして得点を狙っていきます。ドリブルが自分の持ち味なので、その部分をもっと磨いていきたいと思っています。

競技と勉学の両立について

稲城のグラウンドで全体練習が朝6時半からあって、そのあと授業に行きます。法学部は

みんなレベルが高くてたいへんですが、単位を落とすわけにはいかないので。サッカー部以外の友達ができただけのもすごく良かった。

今後の目標を聞かせてください

Jリーガーが目標です。それには、大学でしっかり結果を出さなくては行けない。学年に関係なく、常にチームを引っ張っていく存在になりたいです。春からは東京都リーグでのスタートになりますが、1年で関東リーグに必ず復帰したい。がんばります。



◎これまでの競技成績

- 高校
2014年度 全国高校サッカー選手権大会 準優勝(前橋育英)
- 2015年度 全国高校サッカー選手権大会 優秀選手
- 大学
2017年 関東・北信越選抜B

応援に行こう!

◎今後のおもな試合予定

- 4月開幕/東京都大学サッカー1部リーグ戦



得意の高速ドリブルと巧みな切り返して、相手ディフェンダーをかわす。



3年生になったら
試合に出て活躍したい
稽古も教職課程も
両立してがんばる



政治経済学科2年
加藤翔太さん

相撲部

日本大学を選んだ理由は?

日本大学の方から声をかけてもらいました。日大相撲部は強豪で有名ですので、そこから誘われたのはすごくうれしかった。入ってみて、やはり高校とはスケールが違うと驚きました。

競技と勉学の両立について

練習場と合宿所は伊佐ヶ谷なので法学部へは通いやすいです。朝練はなくて午後からの稽古なので、授業は1限から出られます。教職課程も取っていて、将来は教員になれば

というも選択肢のひとつです。相撲部で教育実習に行く人は結構多いですよ。

今後の目標を聞かせてください

今年は4年生に強い人がたくさんいたので出番がなかったのですが、3年生になったら試合に出て活躍できるようがんばります。部としての一番の目標はインカレの団体優勝です。前回インカレでは団体戦は準優勝だったので雪辱を晴らしたい。1年間それを目指して稽古して、優勝メンバーの一員になりたいです。

◎これまでの競技成績

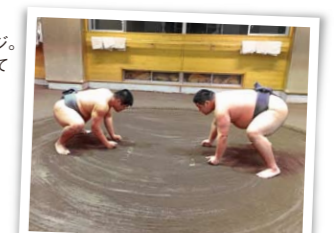
- 高校
2014年 全国高等学校相撲選手権 団体3位
- 2015年 全国高等学校相撲選手権 個人5位、団体3位
- 2015年 全国高等学校相撲選抜大会 個人無差別級3位

応援に行こう!

◎今後のおもな試合予定

- 6月/東日本学生相撲選手権大会
- 7月/東日本学生相撲個人体重別選手権大会
- 9月/全国学生相撲個人体重別選手権大会
- 東日本学生相撲リーグ戦
- 11月/全国学生相撲選手権大会
- 12月/全日本相撲選手権大会

相撲部伝統の紫色のジャージ。チームの中心選手を目指して稽古に邁進する。



日本大学保健体育審議会 競技部一覧				
陸上競技部 TRACK AND FIELD 練習場: 日本大学陸上競技場 (世田谷区桜上水)	陸上競技部特別長距離部門 MARATHON 練習場: 日本大学陸上競技場 (世田谷区桜上水) 日本大学稲城総合グラウンド (稲城市)	水泳部 SWIMMING 練習場: 日本大学水泳場 (目黒区碑文谷)	野球部 BASEBALL 練習場: 日本大学野球場 (千葉県習志野市)	ボート部 BOAT 練習場: 戸田漕艇場 (埼玉県戸田市)
柔道部 JUDO 練習場: 日本大学柔道場 (練馬区小竹町)	柔道部(女子部門) JUDO WOMEN 練習場: 日本大学スポーツ科学部 柔道場 (世田谷区下馬)	剣道部 KENDO 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 剣道場 (世田谷区八幡山)	相撲部 SUMO 練習場: 日本大学相撲道場 (杉並区阿佐谷南)	弓道部 JAPANESE ARCHERY 練習場: 日本大学弓道場 (世田谷区桜上水)
卓球部 TABLE TENNIS 練習場: 日本大学卓球卓球場 (埼玉県戸田市)	馬術部 EQUESTRIAN 練習場: 日本大学馬場・厩舎 (神奈川県藤沢市)	自転車部 BICYCLE RACING 練習場: 京王多摩センター内 周回コース、京王競輪場、他	テニス部 TENNIS 練習場: 日本大学テニスコート (立川市)	空手部 KARATE 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 空手道場 (世田谷区八幡山)
体操部 GYMNASTICS 練習場: 日本大学体操場 (世田谷区桜上水)、日本大学三軒茶屋キャンパス体操場	射撃部 SHOOTING 練習場: 日本大学射撃場 (埼玉県戸田市)	重量挙げ部 WEIGHT LIFTING 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 重量挙げ場 (世田谷区八幡山)	ラグビー部 RUGBY 練習場: 日本大学ラグビー場 (日本大学稲城総合グラウンド、稲城市)	ボクシング部 BOXING 練習場: 日本大学ボクシング場 (目黒区下目黒)
スキー部 SKIING 練習場: 夏季/文理学部 トレーニングルーム、他。 冬季/全国各地の試合箇所	スケート部 SKATING 練習場: 夏季/日本大学八幡山 総合体育館、ダイードリンク アイアリーナ、他。 冬季/各地のスケートリンク	バスケットボール部 BASKETBALL 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 アリーナ (世田谷区八幡山)	バレーボール部 VOLLEYBALL 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 アリーナ (世田谷区八幡山)	レスリング部 WRESTLING 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 レスリング場 (世田谷区八幡山)
サッカー部 SOCCER 練習場: 日本大学サッカー場 (日本大学稲城総合グラウンド、稲城市)	ヨット部 SAILING 練習場: 神奈川県森戸海岸沖	アメリカンフットボール部 AMERICAN FOOTBALL 練習場: 日本大学アメリカンフットボール場 (世田谷区桜上水)	フェンシング部 FENCING 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 フェンシング場 (世田谷区八幡山)	ゴルフ部 GOLF 練習場: 日本大学ゴルフ練習場 (静岡県三島市)
バドミントン部 BADMINTON 練習場: 日本大学 笹目バドミントン場 (埼玉県戸田市)	ハンドボール部 HANDBALL 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 アリーナ (世田谷区八幡山)	応援リーダー部 CHEER LEADING 練習場: 日本大学 八幡山総合体育館 アリーナ (世田谷区八幡山)	女子サッカー部 SOCCER WOMEN 練習場: 日本大学 稲城総合グラウンド (稲城市)	日本大学保健体育審議会 および各競技部の詳細は こちら でCheck! 日本大学「スポーツ日大」 http://www.nihon-u.ac.jp/sports

34競技部すべてに専用の練習場や学生寮などを完備。各地の練習場・合宿所から法学部の授業に通っています。

法学部アスリートOBインタビュー

学生時代は保健体育審議会(以下保体審)所属の水泳部のエースとして国際大会にも出場。2016年にANAセールス(株)に社員アスリートとして入社した押切雄大さん。競泳のトップアスリートであり、社会人として仕事も精力的に取り組む押切さんに、法学部のアスリートたちへのメッセージをいただきました。



水泳部OB 押切雄大さん

2016年政治経済学科卒
ANAセールス株式会社

学びたいことがあるから法学部へゼミナールにも入っていました

— 大学時代は水泳部で大活躍されました。実は高校ではそれほどのレベルの選手ではなかったんですよ。だからあと4年間しか競技ができないのなら、自分の競技人生を悔いを残さない形で終えようと精一杯取り組み、その結果タイムが一気に伸びたんです。

— 一方で学業にも力を入れたらどうか。

高校の時から将来は地方創生に関わりたという明確な目標があったので、政治経済学科の地方行政コースを選びました。ゼミナールにも入っていました。航空法のゼミで、今の仕事にもつながったと思います。法学部の保体審の学生でゼミナールに入る人は少ないですが、僕は競技だけでは卒業したときに何が残るのか、自分自身の向上はないなと思っていて。水泳部以外の友人ができて幅広い視点を持つことができたのも、自分にとってすごくプラスになりました。

アスリートとして社会人として自分の経験を伝えていきたい

— ANAセールスに入社された経緯は。

卒業後は競泳をやめるつもりで一般の就職活動を始めたのですが、大学3年のときに競技の結果がすごく出て、オリンピックの強化選手に指定されたんです。強化指定選手になるとJOCの「アスナビ」(※下記)という就職支援制度にエントリーできて、ANAセールス株式会社に社員アスリートとして入社することが決まりました。



ANAセールスでは総務人事部に所属。会社の採用担当として、法学部での会社説明会などに来校する機会もあるので、就活生はぜひ一度、話を聞きに行ってみては。

社員アスリートとしての毎日とは?

会社では総務人事部に配属になりました。入社する際は朝9時から3時まで仕事をし、その後は練習です。相変わらず自分の時間は少ないですが、トップ選手である以上、東京オリンピックに向けて自分がやるべきことをしっかりとやって、サポートしてくださる会社やまわりの方々の期待に応えられるような結果を出したいと思っています。同時に、会社の成長ぶりを見ると社会人としての危機感も感じるので、仕事でも遅れをとらないようにがんばりたいです。

— 後輩たちにメッセージをお願いします。

「先を見てほしい」です。競技に打ち込んできたその努力や経験を、自分の将来にどう生かせるか、生かしていきたいか。現役の今、考え、行動することが重要だと思います。競技成績を上げることが最優先だとしても、同時にその先の未来を見据え、競技と学業の両立を果たしながら、広い視野で自分の将来のビジョンを描いてほしいです。

本学部を卒業された校友の皆さまが来校

第4回 法学部ホームカミングデーが開催されました

主催: 日本大学法学部 協賛: 日本大学法学部校友会

法桜祭初日の11月3日(金・祝)、本学部を卒業された校友の皆さまに母校を訪問していただくホームカミングデーが開催されました。

当日は1011講堂にて人気お天気キャスター

の森田正光氏と気象予報士の関口奈美氏を招いての記念講演、さらに現役学生が案内するキャンパスツアー、本館食堂での懇親会が行われ、恩師、学友との再会を楽しんでいました。



記念講演では最近の異常気象などについて森田氏がわかりやすく解説。

4月の日本選手権に出演します。この大会の結果が、今年の国際大会の派遣基準になるのが楽しみです。これからも応援よろしくお願いします。



●おもな競技成績

- 2014年 日本選手権200m平泳ぎ 第2位
バンパシフィック選手権日本代表
世界短水路選手権200m平泳ぎ 第6位
- 2015年 国民体育大会100m平泳ぎ 第2位
- 2016年 日本選手権100m平泳ぎ 第5位
- 2017年 日本選手権100m平泳ぎ 第6位

※アスナビとは

(公財)日本オリンピック委員会(JOC)が推進するトップアスリートの就職支援ナビゲーション。JOCが企業と現役トップアスリートをマッチング。企業が選手を採用して社員として身近にサポートすることで、選手は安心して競技に集中でき、企業は社会貢献や連帯感創出などの効果を期待できます。

法学部の vol.2 【公務員編】**就職力**

公務員試験までの継続的な学習を
各種講座や専門相談員が支えます

保護者の皆様の相談室

就職指導課がお答えします。

Q 子どもに将来は公務員を勧めたい
どんなアドバイスをすればよいでしょう

A 一口に「公務員」と言っても、その種類・職種は多岐にわたります。まずは公務員の種類・職種について、それぞれの仕事がどのような業務を行っているのか理解を深める必要があります。その上で社会に貢献できる仕事の魅力を共有してはかがみください。

Q 公務員の筆記試験の勉強はいつ頃から始めればよいですか

A 公務員試験は目指す目標によって、勉強しなくてはならない内容が違ってきます。できるだけ早く自身の目標を見定めましょう。法学部では試験内容に応じた課外講座を複数開講(右記参照)しており、2年生向け講座から開始されます。目標に向けて、受講する講座を選択し、勉強を始めてください。

Q 公務員試験について相談できる人はいますか

A 就職指導課やエクステンションセンターで公務員試験に詳しい専門職員と相談できます。学生の個別相談をはじめ、模擬面接や集団討議の練習を行っています。どんな質問でも構いませんので是非お越しください。公務員に関連した資料や情報も提供しています。

公 務員の魅力は住民や社会の利益に直結した仕事ができることです。その仕事内容は多種多様に存在するので、幅広いフィールドで仕事ができることも魅力のひとつです。公務員になるためには筆記や論文試験対策などの継続的な学習が必要です。また、民間企業の方が選考開始が早いので、民間企業志望者に影響されない気持ちも必要です。



就職指導課(10号館2階)の相談コーナー

課外講座「公務員講座」

有名予備校と提携した講座を、低料金で受講できます。教養科目、専門科目の他、論文対策や面接対策、模擬試験も実施します。4月に講座説明会を行います。

公務員講座の問い合わせ:
エクステンションセンター(10号館2階)

■入門コース
対象:2年生
開講:5~12月

■春期中教養コース
対象:2年生
開講:2~3月

■基礎コース
対象:3年生
開講:5~12月

■直前コース
対象:3年生
開講:前学期2~3月
後学期5~6月

■警察官・消防官直前コース
対象:3年生
開講:2~3月

就職にも有利 学生研究室で資格取得を!

万全の体制でサポート
6つの学生研究室

司法科研究室 税理士科研究室
司法書士科研究室 行政科研究室
弁理士科研究室 公認会計士科研究室

第2回 司法書士科研究室

不動産や会社の登記手の専門家をめざす

司法書士は不動産登記・商業登記・供託に関する手続きの代理、裁判所・検察庁・法務局に提出する書類の作成、さらに法務大臣の認定を受けると簡易裁判所で訴訟代理業務も行うことができる、法律関係の資格のうちでも難易度が高い国家資格です。

司法書士科研究室は、この司法書士試験に特化した全国的でも数少ない研究室です。法職課程の正課教育や課外講座と連携しながら、教員および本学出身の司法書士の先生方が全面サポート。記述式科目を含めた試験科目全般についての実践的な指導を丁寧に行っており、毎年合格者を輩出しています。

POINT 1 本学OB司法書士による
少人数のグループゼミ

初学から中・上級者までレベルごとにグループゼミを開講しており、すべて本学出身の司法書士が講師を務めています。いずれのゼミも10人以下の少人数で実施され、きめ細かい指導を受けられます。



各研究室への入室は、春の説明会と秋の入替試験(または受験面談)で受け付けます。入室料は、年間3千円です。入室試験や答練などの成績優秀者には、研究室内に専用の固定席が1年間貸与され、集中して勉強することができます(貸与基準は研究室ごとに異なります)。

●学生研究室に関する問い合わせ
司法科研究室事務室(5号館2階)
司法科研究室を除く5研究室はエクステンションセンター(10号館2階)

POINT 2 試験の主要4科目を
早期にスタートできる

司法書士試験では民法、不動産登記法、会社法、商業登記法の主要4科目の攻略が重要。この4科目の勉強を1年生から本格的に始められます。併せて実践レベルの答案練習会も随時実施します。

楽しくてタメになる 法学部授業 Close-up

なるほど
納得!

メディア・テキストの基礎Ⅰ・Ⅱ

新聞学科 石川徳幸 准教授



新書「日本政治とメディア」を題材にしたグループ発表。この日はC班による「テレビ政治の時代へ」。教授の講評のあと、毎回3名によるピリオドバトルが行われる。

新聞学科
石川徳幸 准教授

博士(政治学)。日本ジャーナリズム史Ⅰ・Ⅱ、外国ジャーナリズム史Bなどを担当。専門はメディア史、日本近現代史。日本出版学会理事。



社会の問題を科学的に捉える方法を学び、 自分たちで導いた知見を発信する力を養う

『メディア・テキストの基礎Ⅰ・Ⅱ』は、新聞学科の1年生を25人程度の少人数クラスに編成した初年次教育の授業で、現在8クラスを併行して開講しています。授業では、社会科学の方法論を学ぶとともに、文献の読み方・レポートの書き方・発表の仕方を繰り返し実践することによって、アカデミック・スキルやコミュニケーターとしての能力を涵養しています。さらに、2年生以降に履修することができる『メディア・テキストの基礎Ⅲ』では、新聞社や出版社の編集者を講師に招聘しており、ニュース・ライティングなどの実務的な文章作法を学ぶことができます。

学生に聞きました!

前学期はグループ討論や小テスト、後学期は課題図書によるグループ発表とピリオドバトル。メディアの基礎を学べました。
(新聞学科1年・男性)

グループで討論したり、プレゼンのための準備をすることで自然と能力が身に付き、仲間との関係もより深まりました。
(新聞学科1年・女性)

小テストの課題ではメディアに必要な用語や、グラフや記事の読み取り方を学ぶことができ、とても勉強になりました。
(新聞学科1年・男性)

知的好奇心をさらに高める

ゼミナール突撃訪問

ここが役に立つ!

経営法学科 白井哲也ゼミナール



昨年12月の「第7回IBインカレ」より。「IBインカレ」は各大学の商学・経営系のゼミが出場する全国大会。白井ゼミからは2チームが出場。
●4K班「Consumers acceptance model of IoT products」/スマートスピーカーなどのIoT製品がどのように消費者に受け入れられるのか。●トマトとしお班「Crowdsourcing and Quality Control Approach from Transaction Cost」/クラウドソーシングの成果物の品質がばらつく原因について。

ゼミ生に聞きました!

人前で話すことが苦手だったのですが、IBインカレ優勝という目標に向かって努力する環境に身を置きたいと考え入室しました。物事を論理的に考える力を養うことができました。
(経営法学科3年 古川沙瑛さん)

IBインカレは英語での発表と質疑応答なので、研究内容をわかりやすく伝えることの難しさを痛感しました。ゼミのメンバーと高いレベルで切磋琢磨しあえた経験は大きな財産です。
(政治経済学科3年 藤井智洋さん)

経営法学科
白井哲也 教授

博士(商学)。マーケティング戦略論、マーケティング論などを担当。専門は国際マーケティング戦略。他、多国籍企業学会副会長、国際ビジネス研究会理事、異文化経営学会理事。

